

いわて防災学教室

災害から学び、災害に備える



豪雨災害時に地区全員が30分以内で自主避難を実施した地区 ～福島県西会津町弥平四郎地区を対象として～

岩手大学農学部森林科学科教授

井良沢 道也

1. はじめに

近年の土砂災害による犠牲者は高齢者の割合が高く、中山間地は災害により地域の存在すら脅かされるような壊滅的な被害を受けやすい。今後さらに中山間地における過疎化・高齢化は一層深刻となり、地域防災力の低下が懸念されている。こうした土砂災害に対して、実際には災害発生前に避難勧告等の発令が少ない、避難勧告等が発令されても避難する住民が少ないなどの課題があげられる。2004年7月13日から20日にかけて前線性豪雨の際に、福島県西会津町弥平四郎地区の住民全員(50人)が区長の指示のもと、わずか30分以内で自主避難を行った。実際に土石流が発生したが、幸いにも大きな災害には至らなかった。本地区で自主避難を実施したニュースは翌日の福島県の2つの新聞記事に掲載された。

2. 災害及び自主避難の概況

西会津町は、福島県の北西端に位置する町である。今回調査を行った弥平四郎地区は、町の北域を占める奥川地区の最奥部に位置している。弥平四郎地区は、谷底平野に位置し、周囲を河川や溪流に囲まれていることから、自然災害を受けやすい立地条件である。過去には水害や土砂災害に幾度も見舞われている。過疎化や高齢化が著しく、約7年前に行われた調査では、集落人口58人のうち65歳以上の高齢者が7割を超えていた。今回の調査対象とする災害は、2004年(平成16年)7月17日午前6時および同日午前8時に仏の沢で発生した土石流である。仏の沢は弥平四郎地区右岸に位置し、流域面積は0.13km²の小さな溪流だが、近年4度の大規模土砂流出が発生している。

避難は当時の区長の指示によって17日の昼から地区にいた50名全員による1回目の避難が始まり、翌18日の午後には小康状態となったため各自いったん帰宅した。その後の避難は各自の考えに任せるとし、引き続き18日夕方から翌19日にかけて住民の約半数である22名が、19日夕方から翌20日にかけては4名が自主避難を行っていた。

3. 調査結果

聞き取り調査は2011年9月16日に、西会津町役場や町営ケーブルテレビ、弥平四郎地区の区長を対象に行った。また、当日地区内で会うことのできた住民にも話を聞いた。

聞き取り調査より、以下の7点が分かった。

- ①寄り会等で地区に住む全ての住民が一挙に集う機会が年3回ある。
- ②地区内の情報伝達は井戸端会議等の口頭でのやりとりが大半で、日常的に近所づきあいが盛んである。
- ③家屋が隣接しているため情報のやりとしがしやすい。

- ④安全な範囲で、という指示のもと男性は積極的に見回りや防災活動を実施・支援しており、事前の見回りから地区周辺の状況を把握できていた。
- ⑤避難所までの距離が短く避難経路は普段使っている道である。
- ⑥周囲の危険箇所を認識し、危険箇所の情報を日常的に共有・更新している。

- ⑦降雨情報や土砂災害の発生する恐れがあるという情報はケーブルテレビや役場から事前に通達され、当時の区長と役場職員によって固定電話による情報交換がなされていた。

これらより、情報の収集と伝達が速やかにできる体制にあり、地域住民の自然災害に対して高い認識を持っていたことが避難指示を受け入れやすい状態へとさせ、円滑な避難に結びついたと考えられる。

なお、特に本町役場独自の取り組みとしてケーブルテレビ局の運営を紹介する。ケーブルテレビ局は町役場庁舎隣にあって役場職員と振興公社員で運営されており、町でつくるチャンネルを2つ持ち、気象情報だけのチャンネルと町の情報を伝えるチャンネル(さゆりチャンネル)で普段放送されている。2004年の災害当時は町の情報を伝えるチャンネルで降雨情報以外にもそれに対する警戒するよう呼びかけも行っていた。なお、ケーブルテレビの加入率は約90%と極めて高い。

4. まとめと課題

一方、高齢化や過疎化が進み、災害時要援護者への支援やリーダーとなる後継者の確保が課題となっている。現在、この地区では65歳以上の高齢者が約8割を占めており、高齢化が一層進んでいる。平成16年の豪雨災害時と比べると災害時要援護者も増えており、行政や他地区からの支援が必要不可欠である。また、集落支援員による地区の巡回も始まっており、今後防災面における役割が期待される。

このように、本事例で紹介したように、豪雨災害時に地区全員が自主避難を実施した地区に学ぶことは多い。本調査

を行うにあたり、福島県砂防課、西会津町役場、弥平四郎地区の皆様はじめ非常に多くの方のご指導、ご協力を頂きました。深く感謝いたします。災害当時にケーブルテレビ(さゆりチャンネル)で放映した町の独自番組

